

教員会議(1712回)・研究科委員会(504回)議事要録

日 時：平成29年12月13日(水)13時30分～14時50分
15時15分～16時45分

場 所：人間発達文化学類大会議室

【確認事項】

教員会議(第1710回)・研究科委員会(第502回)の議事要録(案)について、確認された。

教員会議

【審議事項】

1. 人事委員会：

議長から、議題(1)については後の議題と関係があるので、後にまわしたいとの発言があった。

(1) 新学類発足時の教員配置について(資)

議長から、標記について研究科委員会審議事項「学校福祉臨床領域の学生募集一時停止について」の審議終了し、承認されたことから審議したいとの発言があり、学類長から、資料に基づき説明があった。資料「(*)保健体育科教育法の3名体制」について、経緯と合意した機関について質問があり、井實将来計画検討委員会委員長から教職大学院発足時等の経緯等の説明の後、コースで意見を返答願いたいとの発言があった。また、学類長から、資料表面に従い裏面の配置は氏名が明記されているが、ポストと理解願いたいとの発言があった。次いで、保健体育の授業実技科目の負担について要望があり、井實委員長から、免許状のWGで中長期的に考えているので、特別な事情があれば意見を提出願いたいとの発言があった。また、学類長から、資料は基本的なものと明記しているもので、補足として説明しており、意見を妨げるものではないとの発言があり、承認された。

(2) 再課程認定への学類の対応について(資)

学類長から、標記について資料に基づき説明提案があり、教職大学院の特任教授について、特例の特例となるため承認されるか不安があるとの意見があり、学類長から個別に対応が必要となるかもしれないとの回答があり、承認された。

(3) 人間発達文化学類教員選考規程等の改正について

人間発達文化学類教員選考規程の改正について(資)

人間発達文化学類教員選考規程に関する申し合わせの改正について(資)

専攻・領域・分野・関係系列区分表の改定について(資)

学類長から、標記について状況が変わってきたため整理したとの説明があり、資料に基づき提案があり、「専攻・領域・分野・関係系列区分」表欄外の注意事項「A～K」を「A～G」に修正し、承認された。

(4) 副学長の選考について(資)

学類長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

(5) 今後の人事計画につて(資)

学類長から、既に割愛が承認されている鈴木庸裕教員の転出に係る対応について、資料に基づき説明提案があり、来年度の人事計画については、既に教育研究院会議で認められ、ポイント数は学類の人事計画において厳しい状況であると説明してきたが、一方で大学院一次入試が終了し入学者への対応が必要であるため、修了研究指導の後任については特任

教授を採用し対応したい。また、広い分野をカバーしている学類の授業については、非常勤講師を採用することで対応したい。対応する授業については採用する特任教員の担当の範囲もあるので、今後検討したい。なお、鈴木(庸)教員から了解を得たうえで、学校臨床心理専攻にも検討を依頼したところである。専攻からの意見について、修了までのカリキュラムの維持については、意見のとおりであり、提案はその対応と考えている。特任に加えて客員教授として措置することについては、客員教授の委嘱と授業担当は別のものであると確認したい。授業科目については、特任教授の事情により非常勤講師を雇用する可能性がある。客員教授は、授業担当とは関係しない。行政政策学類、経済経営学類等人文系では、客員教授の称号授与をしていないことを確認しており、共生システム理工学類では、協定を締結した相手先から講師を招く際などで、先方の都合により謝金が措置出来ない場合であった。非常勤講師を採用する場合は、非常勤講師として謝金が措置することとなるので、共生システム理工学類と同じようにはならないとの補足説明があった。

その後、非常勤講師及び客員教授の修士論文の指導内容及び専攻への回答内容について質問があり、学類長から、実際の授業対応と客員教授の称号授与と相対して区別して扱う、具体的な学生対応については、後任の特任教授の事情により必要な対応はしていくとの回答があり、承認された。

2. 人事について：

(1) 教員の任用について(資)(発議) 投票

幼児教育学(保育学)

議長から、今回の人事について報告願いたい旨の発言があり、当該分野の白石教員から、選定の経緯と結果(年齢、領域適合性、科目適合性)について資料に基づき説明があり、資格調査委員会設置の提案があり、承認された。投票の結果、当該分野あるいは当該関係分野から白石、当該領域から原野、当該領域以外の領域から坂本、松下(谷、浜島、松下、得票数同数により互選)、当該学系に所属する学類長の委員選出は、浜島教員を選出することとし、承認された。

(2) 特任教員の任用について(資)(発議) 投票

数学科教育

栗原主査から、審査対象者のA氏について、研究業績及び教育能力の両面についての審査内容の報告があり、審査結果を総合的に判断して、適格者とする結論に至った旨の説明提案があり、承認された。次いで、資料に基づきA氏(瀧口和也氏)の経歴・研究業績の報告があり、投票に移ることの提案があり、承認された。

投票の結果、賛成46票、反対0票、無効0票、白票0票で特任教授として採用することが、承認された。

3. 教務委：平成29年度非常勤講師計画の変更について(資)

佐久間委員長から、標記について資料に基づき変更点について説明提案があり、承認された。

4. 広報・情報管理委：アカウント利用内規について(資)

原野委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

5. 学類長：人事委員会の選挙結果について

学類長から投票結果(投票権者数66、投票者数48、投票総数96、有効投票93、無効票0、白票3)について報告があり、得票上位となった井實(15票)、新井(12票)、小川(12票)、川田(10票)の4教員が次期人事委員として承認された。

【報告事項】

1. 教育研究評議会：第293回(12/5)

(審議事項)

(1) 入試改革の進め方について (資 - 掲)

(報告事項)

(1) 学長候補者の決定について (資 - 掲)

(2) 経営協議会学外委員について (資 - 掲)

(3) 平成 28 年度に係る業務実績の評価結果について (資 - 掲)

(4) F U R E 及び I E R 平成 29 年度上半期活動報告について (資 - 掲)

2 . 運営会議 : 第 99 回 (11 / 14)

(1) 教育の質保証について (資 - 掲)

(2) その他

大学改革セミナーについて (資 - 掲)

3 . 教務委 :

(1) 学生の異動 (退学) について

佐久間委員長から、退学者 1 名について報告があり、了承された。

(2) 平成 30 年度新入生ガイダンス日程について (資)

佐久間委員長から、新入生及び編入学・学士入学ガイダンス日程について資料に基づき説明報告があり、了承された。

4 . 学生生活委 :

(1) 平成 30 年度オリエンテーションクラスアドバイザー・学習クラスアドバイザーの決定について (資)

今尾委員から、標記についてタイトル修正 (2017 2018) の後、資料に基づき説明報告があり、了承された。

(2) 平成 30 年度 1 年次及び 3 年次学生研修実施要項について (資)

半沢委員長から、標記について実施形態 (実施期間) 及び旅行保険への加入呼び掛け等の変更点について資料に基づき説明報告があり、了承された。また、生協の保険もあるので大学が提案する保険について検討願えないかとの発言があった。

5 . 現代教養コース運営 : 平成 30 年度現代教養コース推薦入学試験の合否判定について

平中委員から、仮判定までの経緯、標記試験の合否判定の経過と結果 (21 名合格) について説明・報告がなされ、了承された。

6 . 将来計画検討委 : 新学類の D P ・ C P 案及び入学者選抜方法の方向性について (資)

井實委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、A O 入試、A P の基本的要素、C P の選択必修等について発言があった後、井實委員長から各コース内でオーソライズして 1 月 10 日までに意見を提出願いたいとの発言があり、了承された。

7 . 学類長 :

(1) 平成 30 年度 4 月 1 日付け昇任人事について

学類長から、標記について教授昇任枠 2 件、准教授昇任枠 1 件あるので、1 月 31 日 (水) までに提出願いたいとの依頼があった。

(2) 教員の昇給 (昇給区分 A 又は B の適用者) について

学類長から、標記について学類人事委員会において対象者 (特定職員 A : 4 名、B : 13 名、一般職員 A : 1 名、B : 5 名) を決定したとの報告があった。

(3) 教員の外国出張について

学類長から、以下について学類人事委員会で承認したとの報告があり、了承された。

外国出張 高田英和 29.12.24 ~ 30.1.12 イギリス 研究経費

研究科委員会

【審議事項】

1. 教務委：平成 29 年度修了研究題目及び審査委員について（資）
佐久間委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。
2. 研究科長：学校福祉臨床領域の学生募集一時停止について（資）
研究科長から、標記について資料に基づき説明があり、現領域は専任教員 1 名、特任教員 1 名となっている。鈴木庸裕教員の後任について先ほどの承認から、専任教員がいないこととなり、特任教員が 2 名という事情となるため、提案のとおり対応したいとの発言があった。次いで、専攻からの「事実上、領域の廃止に繋がると判断せざるを得ないこの内容について、将来構想部会、大学院運営委員会等での討議・検討なしに進められることは遺憾である。」の意見については、教員配置の事もあがるが、あくまでも当面の措置であり、研究科として将来について判断することではない、改めて確認願いたい。また、将来計画検討委員会では、大学院に関わらないので、下部組織の部会での検討は出来ない。また、「専任教員増員の担保なしに学生定員の増加は承認出来ない。」の意見については、正式に定員増となれば、その際には検討が必要と認識しているとの発言があり、承認された。

【報告事項】

1. 教務委：平成 30 年度大学院新入生ガイダンス日程について（資）
佐久間委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

（アナウンス）

平成 30 年度「シラバス登録」及び「シラバス点検」について（教務委）

標記について、2 月に実施予定なので準備願いたいとのアナウンスがあった。

学習と生活に関するアンケート調査について（教育課程委）

標記について、対象を 4 年次生のみとしアンケート項目も絞って実施するとのアナウンスがあった。

平成 29 年度卒業時アンケート（4 年次生対象）の実施について（教育課程委）

標記について、教育企画委員会から実施依頼がきており、「 」と併せて実施し、回収については、後日連絡するとのアナウンスがあった。

共通教育アンケートの実施について（共通教育委）

標記について、1 月に 2 年次生を対象に学習クラス単位で行うとのアナウンスがあった。

平成 29 年度後期共通領域科目履修者数一覧表について（共通教育委）

標記について、教員控室に掲示するので確認願いたいとのアナウンスがあった。

大学入試センター試験実施に伴う学生の入構禁止措置及び学内施設の利用制限等について
(学生生活委)

標記について、学生に周知願いたいとのアナウンスがあった。

日本学生支援機構奨学金の大学院第一種奨学金返還免除について（学生生活委）

標記について、学生に周知願いたいとのアナウンスがあった。

3 月卒業・修了学生の表彰の推薦について（学生生活委）

標記について、推薦を募集するとのアナウンスがあった。

「福島大学しのぶ育英奨学基金」の協力依頼について（学類長）

標記について、協力依頼のアナウンスがあった。

次回の教員会議は 1 月 24 日（水）13:30 から開催することとした。